

従業員教育の本を出版しました

その7



10. どのような方法で教育すると教育効果が出るか

ここ迄に教育テーマの決め方と、自社の規模と業種に合った良い教材の揃え方について説明してきました。

このあとはこの教材を使い、「どのような方法」で従業員を教育すると、「より高い教育効果」が出て従業員の実力が高まるか、「具体的な教育方法」を考えておく必要があります。

これ迄、従業員教育に関する本は何冊も出版されています。

ところが不思議なことに大企業を対象にした本は何冊もあるのに、中小企業を対象にした教育原則を、論理的に、しかも根拠がある方法で説明している本が見当たらないのです。

ちなみに大企業を対象にした教育方法は、ほとんどが人事部任せになっていて、社長用にはなってないので注意が必要です。

11. 弱者の教育戦略ルールを理解

この解決に役立つのが、ランチエスター法則応用の研究から解った「弱者の戦略ルール」を、従業員教育に活用する方法になります。

弱者の戦略の中心概念は、「接近戦、直接戦、一騎打戦、軽装備、狭域戦、集中主義、差別化」になります。

この考え方を従業員教育に応用すると「弱者の教育戦略」になります。

弱者の教育戦略など「聞いたことがない」という人が多いでしょうが、中小企業で従業員の実力を高めるにはこの戦略が欠かせません。

まず1番目は、社長自身がインストラクターになり、社長が従業員を直接教育します。

お客様に対する考え方や返品に対する考え方、それに仕事に対する心構えなどは、社長自身でないと他人では説明ができません。

しかし中小企業の教育では「社長がインストラクターになるべき」と説明すると、イキなり腰が引ける人が多くなるでしょう。

これは大昔から実行されている、「寺子屋式の教育法」になるので、実際に実行してみると解りますが意外に簡単です。

2番目は、教育するテーマに対応したDVDの教材を揃えます。

このDVDは社長が何回も見たあと、どこで止めて追加の説明をするか、前もってテキストに記入しておきます。

3番目は、この教育テーマに該当する従業員を10人位選びます。人数がこれよりも多くなるときは、いくつかに分けます。

4番目は、教育するテーマのテキストを購入し、数日前に参加者に渡します。

5番目は、DVDは一度に最後迄見るのではなく、15分位見たあと途中で一旦止め、必要によって社長が追加の説明をします。

このあと参加者全員から「ここ迄見た範囲でどう思いますか」と、意見や感想を聞きます。これが重要です。

しかし初めて教育を受けた場合、従業員はどのように答えたらいよいか解らないので意見は出ませんが、数回実行すると意見が出るようになります。

この意見や感想の内容で、従業員の実力や性格がよく解ります。

A君は、この件について理解していると思っていたが、実は全く解ってなかった、とか、B君はこの件について解ってないと思っていたが、意外にきちんと理解していた、などが解ります。

さらに教材が説明していることが刺激となって、思わぬ意見が出ることもあります。

これ以外に、従業員の意見や感想から、自分の会社では「今後この分野の教育が必要になる」ということが解る場合もあり、これはとても役立ちます。

6番目は、こうしてあるテーマの教育が終わったら、社長が全体にまとめをします。

そのあと「この仕事に関しては、今後このようにしてもらいます」と、**はっきりした方針を出します。**

こうすると社長の経営や仕事に対する考え方が**全員に伝わる**ので、**意識の共有**ができます。

これは**教育の差別化**にもなるので、大事なテーマの教育が終わったら必ず方針を出すようにすべきです。

※これが、弱者の教育戦略の中心部分になります。この教育方法で最も障害になるのが社長自身がインストラクターになることでしょう。

しかもインストラクターになる方法を教えているところもありません。

でも大丈夫です。DVDを使って、2回～3回実行すると、やり方が解ります。意外に簡単ですから、心配はいりません。

これらの方針を従業員100人以下の規模を対象に、ランチェスター戦略を基本思想にして説明したのが、今回出版した「ランチェスター式・小さな会社の従業員教育戦略」の本になります。

経営書院。定価1,980円（税込）（送料別）
本の購入は、お近くの書店か、Amazonで。

※竹田のサインを希望される方は、購入者の「フルネーム」と発送先の社名・住所・電話番号・FAX番号を記入の上メールかFAXで知らせて下さい。この場合、別途に送料210円が必要です。代金後払い

◇ご注文FAX用紙は ↓↓↓
<https://www.lanchest.com/hp/wp-content/uploads/2025/06/information01.pdf>

 **ランチェスター経営（株）**

〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>

